

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

 2019年10月31日
 上場取引所 東

上場会社名 旭有機材株式会社
 コード番号 4216 URL <https://www.asahi-yukizai.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 賀津也
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部総務部長 (氏名) 亀井 学 TEL 03-5826-8820
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	26,449	△3.4	1,742	2.9	1,707	△10.1	1,295	△40.4
2019年3月期第2四半期	27,374	27.3	1,693	46.9	1,898	47.5	2,175	122.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 987百万円 (△40.5%) 2019年3月期第2四半期 1,659百万円 (101.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	67.69	—
2019年3月期第2四半期	113.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	63,297	43,682	68.4	2,261.33
2019年3月期	62,541	43,179	68.4	2,235.15

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 43,265百万円 2019年3月期 42,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	3.4	3,700	△12.4	3,900	△11.2	2,900	△25.7	151.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料P.7「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	19,800,400株	2019年3月期	19,800,400株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	667,684株	2019年3月期	667,337株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	19,132,910株	2019年3月期2Q	19,135,938株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2019年11月26日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける経営環境は、東アジア地域での半導体投資延期や自動車販売の減速などの影響が続いており先行き不透明な状況でしたが、中期経営計画で掲げた営業活動量のUPやお客様のお困りごとに真摯に向き合うことをグループで取り組んできたことに加えて生産の効率化を進めていることから、投資減速の影響は受けたもののそれ以外の分野で売上と利益を確保しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は26,449百万円(前年同期比△3.4%)となり、営業利益は1,742百万円(前年同期比+2.9%)、経常利益は1,707百万円(前年同期比△10.1%)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期に旭エー・ブイ産業株式会社の株式追加取得に伴う特別利益を計上した影響もあり、1,295百万円(前年同期比△40.4%)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 管材システム事業

国内の主力製品については、「耐食問題を解決する」をスローガンに顧客密着型の販売活動を推進していますが、工事全般の投資先送り、東アジア向けの装置需要低迷の影響を受け、ダイマトリックス製品や、一般設備向け製品の売上が減少しました。

海外では、米国において、引き続き民需・官需の需要が好調に推移しましたが、中国では、米中貿易摩擦による投資延期の影響を受け、売上は減少しました。

利益面においては、パルプ等の基幹製品やダイマトリックス製品の売上減少の影響に加え、人件費と能力増強による減価償却費の増加により、前年同期を大きく下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は15,943百万円(前年同期比△3.0%)、営業利益は1,267百万円(前年同期比△17.7%)となりました。

② 樹脂事業

主力の素形材用途向け製品の売上は、国内外における自動車生産の減速の影響を受け、前年同期を下回りました。

建材用途を始めとした発泡材料においては、現場発泡断熱材製品の施工性の良さと吹付施工機械の優位性を武器に大手施工店との新規取引に成功できたこと、また、トンネル掘削時に用いる固結材「AGSR®」は、高い固結強度や止水性が求められる難工事向けの高付加価値製品の販売が増え、売上を伸ばしました。

電子材料用途を主力製品とする高機能樹脂の売上は、半導体の微細化に対応している国内の大手レジストメーカー向け低メタル製品で引き続き需要が拡大しました。海外では中国の需要が依然として低迷している一方、台湾の需要は戻りつつあります。

利益面においては、昨年から進めてきた生産体制の効率化によるコストダウンが寄与したことにより、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は8,031百万円(前年同期比△2.4%)、営業利益は420百万円(前年同期比+22.2%)となりました。

③ 水処理・資源開発事業

水処理事業の売上は、新規の造水事業の売上が加わることで、前年同期を上回りました。

資源開発事業は、予定していた大型地熱案件が下期に延びたため、売上高、営業利益とも前年同期を大きく下回りました。

維持管理事業は、引続きメンテナンス工事の受注が順調に伸びている中、強みである修繕関連工事を集中的に受注することで、売上および営業利益は前年同期を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は2,475百万円(前年同期比△8.4%)、営業損失は65百万円(前年同期の営業損失は176百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産は63,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ755百万円増加しました。これは主に現金及び預金やたな卸資産などの流動資産が増加したことによるものです。負債は19,615百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円増加しました。これは主に借入金が増加したことによるものです。純資産は43,682百万円となり、前連結会計年度末に比べ503百万円増加しました。これは配当金の支払いはありましたが、それを上回る親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日公表の連結業績予想と実績との差異につきましては、本日公表の「2020年3月期第2四半期累計期間連結業績予想値と実績値との差異について」をご参照ください。

なお、通期の連結業績予想は見直しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,912	8,350
受取手形及び売掛金	15,041	13,181
電子記録債権	3,092	2,694
たな卸資産	10,518	11,918
その他	755	652
貸倒引当金	△47	△47
流動資産合計	37,272	36,748
固定資産		
有形固定資産		
土地	6,587	6,574
その他(純額)	11,183	11,431
有形固定資産合計	17,770	18,005
無形固定資産		
のれん	653	1,627
その他	397	398
無形固定資産合計	1,050	2,026
投資その他の資産		
投資有価証券	2,919	2,912
退職給付に係る資産	2,744	2,735
その他	806	892
貸倒引当金	△20	△21
投資その他の資産合計	6,449	6,519
固定資産合計	25,269	26,549
資産合計	62,541	63,297
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,022	5,031
電子記録債務	3,155	2,379
短期借入金	2,516	3,927
未払法人税等	459	415
その他	3,738	4,108
流動負債合計	15,890	15,859
固定負債		
長期借入金	138	400
退職給付に係る負債	1,721	1,772
株式給付引当金	20	25
役員株式給付引当金	52	65
その他	1,542	1,494
固定負債合計	3,472	3,756
負債合計	19,362	19,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,497	8,497
利益剰余金	28,926	29,740
自己株式	△1,135	△1,135
株主資本合計	41,287	42,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522	506
為替換算調整勘定	636	438
退職給付に係る調整累計額	320	220
その他の包括利益累計額合計	1,478	1,164
非支配株主持分	414	416
純資産合計	43,179	43,682
負債純資産合計	62,541	63,297

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	27,374	26,449
売上原価	18,677	17,489
売上総利益	8,696	8,960
販売費及び一般管理費	7,003	7,218
営業利益	1,693	1,742
営業外収益		
受取利息	16	6
受取配当金	52	43
為替差益	115	—
不動産賃貸料	27	45
出資金運用益	7	—
その他	22	23
営業外収益合計	240	118
営業外費用		
支払利息	11	10
不動産賃貸費用	11	11
為替差損	—	96
出資金評価損	—	3
その他	12	31
営業外費用合計	35	153
経常利益	1,898	1,707
特別利益		
固定資産売却益	13	13
投資有価証券売却益	1	—
負ののれん発生益	1,041	—
特別利益合計	1,054	13
特別損失		
固定資産除却損	20	8
固定資産売却損	0	—
段階取得に係る差損	340	—
和解金	—	41
特別損失合計	360	48
税金等調整前四半期純利益	2,592	1,672
法人税等	395	361
四半期純利益	2,197	1,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,175	1,295

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,197	1,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	△14
為替換算調整勘定	△305	△209
退職給付に係る調整額	△154	△101
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	—
その他の包括利益合計	△538	△323
四半期包括利益	1,659	987
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,629	983
非支配株主に係る四半期包括利益	29	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結財 務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	水処理・資源 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,442	8,230	2,702	27,374	—	27,374
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注) 2	118	1	2	121	△121	—
計	16,560	8,231	2,704	27,495	△121	27,374
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,539	344	△176	1,707	△14	1,693

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額)であります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(重要な負ののれん発生益)

前第2四半期連結累計期間において、株式取得に伴い、旭エー・ブイ産業株式会社を連結の範囲に含めております。当該事象による負ののれん発生益の計上額は、管材システム事業で1,041百万円であります。

II. 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損益の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結財 務諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	水処理・資源 開発事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,943	8,031	2,475	26,449	—	26,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高(注) 2	91	0	—	91	△91	—
計	16,034	8,031	2,475	26,540	△91	26,449
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	1,267	420	△65	1,622	120	1,742

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントが負担する一般管理費の配賦差額)であります。

2. セグメント間の内部売上高又は振替高は、市場実勢価格に基づいております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、株式取得に伴い、株式会社ランドウィックを連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、樹脂事業で980百万円であります。

なお、のれんの金額は取得原価の配分が終了していないため、暫定的に算出された金額であります。